

令和7年度

国語

(解答はすべて解答欄に記入すること)

この試験問題は持ち帰ることができます。

なお、本問題で利用した著作物は、著作権法第36条により、試験の目的上必要と認められる限度において複製したものです。同目的以外の利用はできません。

(長野県教育委員会)

受験 番号					氏 名	
----------	--	--	--	--	--------	--

〔問一〕 次の文章を読んで、後の各問いに答えなさい。

(注) 問題作成上一部省略した箇所がある。
(全卓樹 「渡り鳥たちが語る科学夜話」)

(一) ———線部 a ~ e について、漢字は読み方をひらがなで書きなさい。

また、カタカナは漢字に直し、楷書で書きなさい。

〔 a イロド b ソウゴン c 覆 d 戦慄 e ウス 〕

(二) 空欄 あ、い に当てはまる最も適切な語を、次のア~オの中から一つ

ずつ選び、記号で書きなさい。

〔ア そして イ 例えば ウ なぜなら エ しかし オ すなわち 〕

(三) ———線部①「土星の環の明るさは、それが光をよく反射する大小の水の塊でできていることに由来する」とあるが、このような情報の信頼性の確かめ方として、どのような方法が考えられるか。「インタネット」を用いる場合について、「中学校学習指導要領解説 国語編」(平成二十九年七月)を踏まえて六十字以内で書きなさい。

(四) ———線部②「土星のこれまで45億年の生涯において、輝く氷の環を帯びているのは、僅か1~2億年の間だけ」とあるが、なぜそのようにいえるのか。本文中の言葉を二箇所引用して八十字以上九十文字以内で書きなさい。なお、引用する部分は、かぎ(「」)でくくること。

(五) ———線部③「こんな桜が見られるのは、1年52週のうちたった1、2週間だけ」とあるが、この言葉にはどのような表現の効果があると考えられるか。「土星の環」「桜」「人類の幸運」「美しさ」という言葉を用いて七十五文字以内で書きなさい。

(六) 本文の内容に当てはまるものを次のア~オからすべて選び記号で書きなさい。

ア 土星の環の特徴はその大きさと明るさであり、夜間は空を白夜に変えてしまうほど明るく、その環は銀色の虹のように見える。

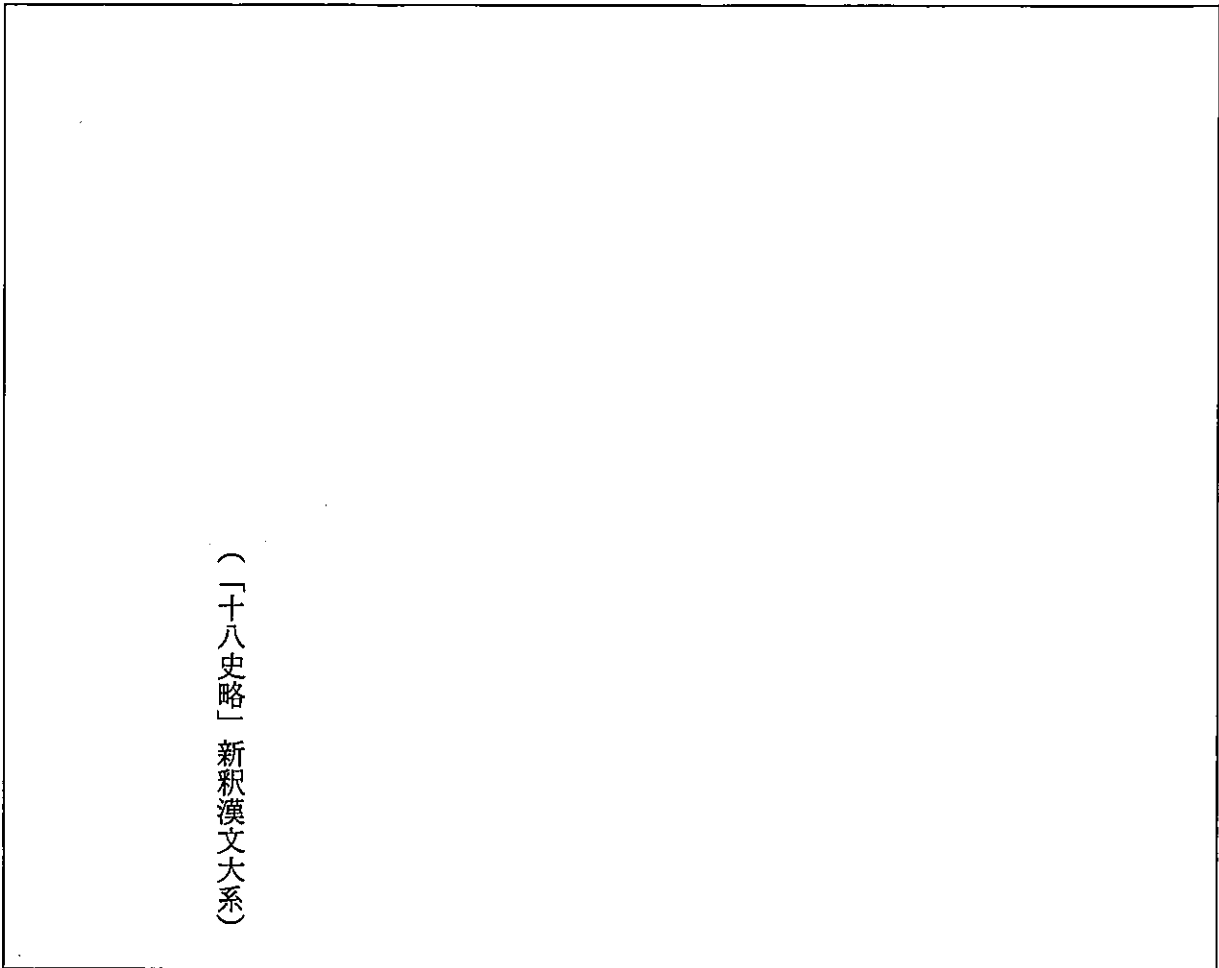
イ 土星の四つの衛星を氷の純度が高い順に並べるとミマス、エンケラドゥス、テイイス、ディオネの順番になる。

ウ 環となり衛星となった氷が、いつ、どこから来たのかという問いには「古い環」説と「新しい環」説があったが、「新しい環」説が正しいことが証明された。

エ 土星の環が明るいのには、環を構成する氷の塊が絶えず衝突し、環の表面と内側が循環することが多く起きているからである。

オ 2億年後、人類の後に来る知的生物は、環がある土星の姿を見ることができない可能性がある。

〔問二〕 次の漢文を読んで、後の各問いに答えなさい。なお、設問の都合上表記を改めた部分がある。



(「十八史略」新釈漢文大系)

(一) — 線部①「幾何」の本文における意味として最も適当なものを、ア～オから一つ選び記号で書きなさい。

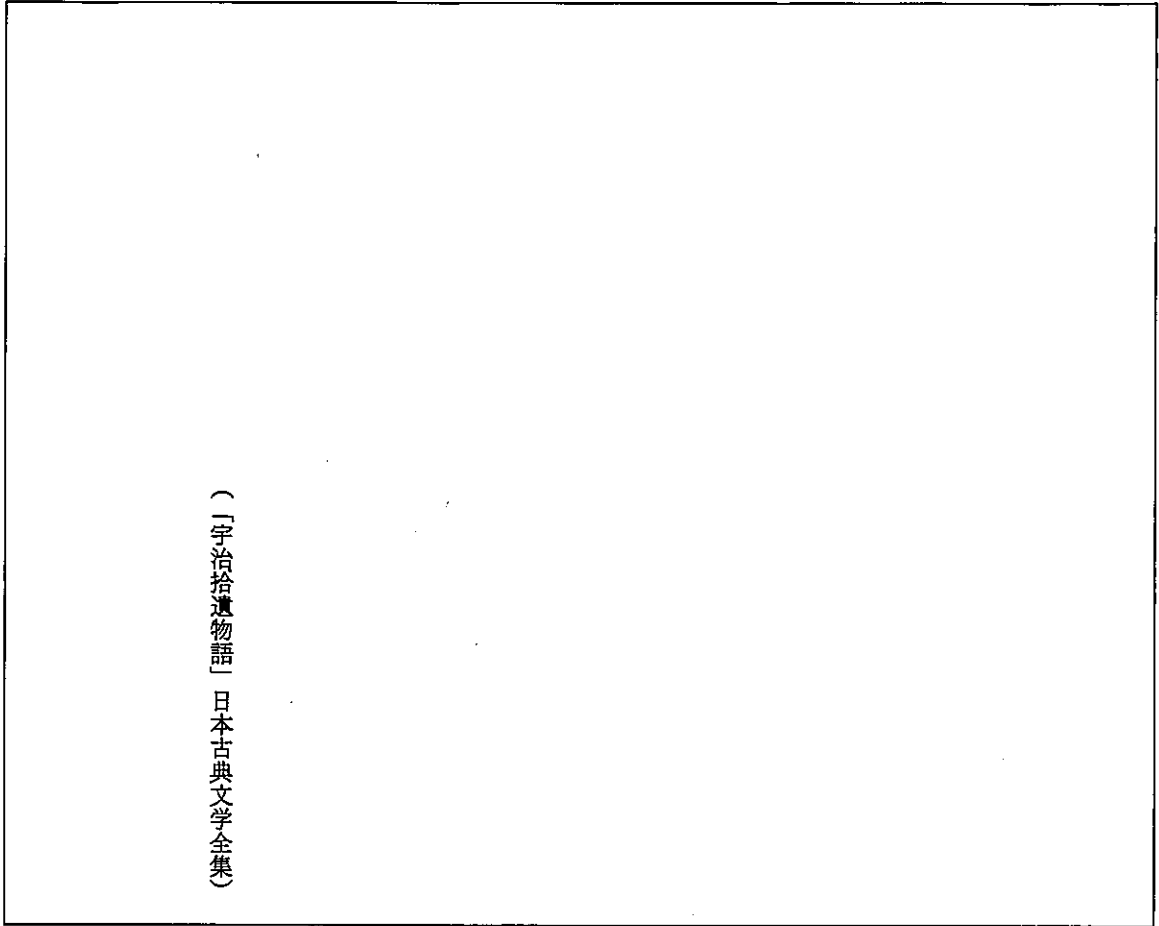
- | | |
|---|-------|
| ア | とれだけ |
| イ | どうして |
| ウ | なぜ |
| エ | どうするか |
| オ | いかが |

(二) — 線部②「臣」は誰を指すか、本文中の言葉で書きなさい。

(三) — 線部③の現代語訳を書きなさい。

(四) この故事より、「多々益々弁ず」ということわざができた。このことわざの意味を書きなさい。また、そのことわざを用いて、意味の通る用例を二文以内で書きなさい。

〔問三〕 次の文章を読んで、後の各問いに答えなさい。なお、設問の都合上表記を改めた部分がある。



「宇治拾遺物語」 日本古典文学全集

(一) ———線部①「やんごとなき人」とは、どのような人か。口語訳を書きなさい。

(二) ———線部 a～d について、語句と表現に関する説明として、最も適当なものを次のア～エから一つ選び記号で書きなさい。

ア a 「おはせよ」は、謙譲を表す動詞「おはします」が、接続助詞「て」について「……ていらっしゃる」ということを表現している。

イ b 「跡」は、「後」と同義であり、ここでは時間的にうしろの方を表現している。

ウ c 「にかあらん」は、断定の助動詞「なり」の連用形「に」、係助詞「か」、ラ行変格活用の補助動詞「あり」の未然形、推量の助動詞「む」の連体形から成り立っており、「……であろうか」を表現している。

エ d 「え待つまじ」は、副詞の「え」に打消の意思を表す「まじ」を伴って、「待つことはできないだろう」ということを表現している。

(三) ———線部②「さてなん助けし」とあるが、誰がどのように助けたのか書きなさい。

(四) () ③ () に当てはまる言葉を次のア～エから一つ選び記号で書きなさい。

ア 昨日 イ 今日 ウ 明日 エ 未来

(五) 本文に表れているものの方の見方や考え方はどのようなことか、書きなさい。

〔問四〕 「中学校学習指導要領解説 国語編」(平成二十九年七月)に即して次の問

いに答えなさい。

(二) 次の文章は、「知識及び技能」(1)言葉の特徴や使い方に関する事項である。

空欄 A ～ E に入る適切な語句を書きなさい。

(一) 「思考力,判断力,表現力等」A「話すこと・聞くこと」の指導事項について、左の表の ① ～ ⑤ に入る適切な語句を書きなさい。

表

	第1学年	第2学年	第3学年
構造と内容の把握、 考えの形成、共有 (聞くこと)	エ 必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、 ① や ② など踏まえて、自分の考えをまとめること。	エ 論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと ③ しなが ら、自分の考えをまとめること。	エ 話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や ④ を ⑤ して、自分の考えを広げたり深めたりすること。

〔語彙〕

第1学年

ウ 事象や行為、A を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と B の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。

第2学年

エ 抽象的な C を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、D や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。

第3学年

イ 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、E や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。

受験番号

名前

得点

問一 三十五点 (一)二点×5 (二)三点×2 (三)四点 (四)六点 (五)五点 (六)四点

(一)	a	彩(色取)
	b	莊嚴
(二)	あ	オ
	い	ア
(三)	c	おお
	d	せんりつ
(四)	e	薄
(五)		
(六)		

問二 二十点 (一)(二)各四点 (三)六点 (四)六点(完答)

(一)	ア	信
(二)		
(三)		
(四)		

問三 二十五点 (一)五点 (二)四点 (三)六点 (四)四点 (五)六点

(一)	賢く尊いお方
(二)	ウ
(三)	莊子が少しの水を与えて助けた。
(四)	イ
(五)	「後の千の金さらに益なし」とあるように、必要な時が過ぎてから大金を与えられても何の意味もない。せっかくの援助も時期を逸すれば役に立たないということ。

問四 二十点 (一)二点×5問 (二)二点×5問

(一)	①	共通点
(二)	②	相違点
(三)	③	比較
(四)	④	表現の仕方
(五)	⑤	評価